

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
フォローアップ結果（令和7年度）

プログラム名	学術知共創プログラム
課題	課題A：将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方
研究テーマ名	人口動態予測に基づく空間格差の解消に向けたシナリオ
研究代表者	蕭 耕偉郎
所属機関・部局・職	東京大学・大学院工学系研究科・准教授
フォローアップ所見	
本研究は、人口動態をもとに空間格差を議論するものであり、新しい人口動態モデルの構築や将来の政策への提言を行うことも含む研究となっている。これまでの研究の進捗に関しては、国勢データ、人口衛星画像データなどの分析など既存データを基にした解析が主になっているが、様々な切り口で空間格差を表現できる解析ができており、順調に見える。 成果の見える化についても、論文化が多くされており順調に進んでいるところではあるが、人口動態モデルの詳細、例えば移動による変化と自然増減の取り扱い、他のモデルとの比較、NII（国立情報学研究所）や他の国立研究所との共同研究の可能性、また、経済活動を含めたアウトプットの取り扱いなど、研究成果の更なる展開については今後に期待する。 採択時に伝えた、人口動態モデルの精度を上げるための要求、予測精度とそれを考慮したシナリオ構築、研究成果の政策への着実な連結などについても研究期間内に取り組んでもらいたい。	